

第18期

運用報告書(全体版)

グローバル・エクセレント・オープン (愛称 世界連峰)

【2017年2月27日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「グローバル・エクセレント・オープン
(愛称 世界連峰)」は、2017年2月27日に第18期
決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決
算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申
上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2008年2月28日から、原則として無期限です。	
運用方針	グローバル・エクセレント・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
14期 (2015年2月26日)	円	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
	11,913	400	18.4	2,113.86	5.8	386.76	13.6	92.7	—	180
15期 (2015年8月26日)	10,760	200	△ 8.0	1,867.61	△11.6	356.36	△ 7.9	93.0	—	143
16期 (2016年2月26日)	10,007	0	△ 7.0	1,951.70	4.5	326.54	△ 8.4	83.4	—	124
17期 (2016年8月26日)	9,645	0	△ 3.6	2,172.47	11.3	342.02	4.7	91.6	—	118
18期 (2017年2月27日)	11,194	300	19.2	2,367.34	9.0	370.01	8.2	94.2	—	125

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) S & P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。なお、両指数とも当該日前営業日の現地終値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

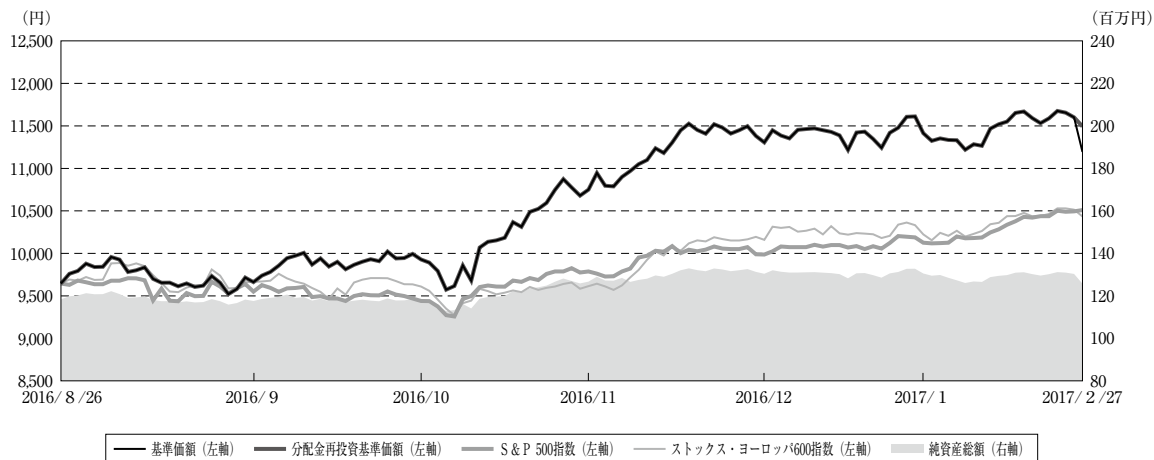
年月日	基準価額		S & P 500指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
(期首) 2016年8月26日	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%
	9,645	—	2,172.47	—	342.02	—	91.6	—
8月末	9,880	2.4	2,176.12	0.2	344.75	0.8	91.8	—
9月末	9,662	0.2	2,151.13	△1.0	342.72	0.2	90.9	—
10月末	9,929	2.9	2,126.41	△2.1	340.80	△0.4	90.4	—
11月末	10,750	11.5	2,204.66	1.5	340.95	△0.3	88.8	—
12月末	11,305	17.2	2,249.26	3.5	360.26	5.3	90.9	—
2017年1月末	11,414	18.3	2,280.90	5.0	362.55	6.0	94.2	—
(期末) 2017年2月27日	11,494	19.2	2,367.34	9.0	370.01	8.2	94.2	—

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2016年8月27日～2017年2月27日)



期首：9,645円

期末：11,194円 (既払分配金 (税引前)：300円)

騰落率：19.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S & P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首 (2016年8月26日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○**基準価額の主な変動要因**

当ファンドの主要投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・米国の金融規制の緩和期待から事業環境の改善が期待された銀行株に加え、ユーロ安に伴う業績改善が見込まれる欧州の消費関連株や素材株などの上昇がプラスに寄与しました。
- ・需要が好調で業績の伸長が見込めると判断し新規に組み入れた半導体関連株の上昇がプラスに寄与しました。
- ・為替市場において、先進国の主要通貨に対して円安が進んだことが基準価額にプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・原油価格は堅調に推移すると予想し、ウェイト付けを凶ったエネルギー関連株の下落がマイナスに寄与しました。
- ・新薬試験が低調な結果となった薬品株や業績悪化懸念が台頭した欧州の飲料株などの下落がマイナスに寄与しました。

投資環境

（2016年8月27日～2017年2月27日）

世界の株式市場は、2016年9月末にかけて米国の雇用統計などが市場予想を大幅に下回ったことから、早期利上げ観測が後退した一方、欧州中央銀行（ECB）が金融緩和策の延長を見送ったことなどから、もみ合う展開となりました。11月上旬にかけては、ECBの量的金融緩和策の縮小観測が台頭したことや、米大統領選を巡る不透明感が高まり、軟調に推移しました。しかしその後、米大統領選でトランプ氏が勝利し、同氏が掲げた財政出動や金融規制緩和等への期待を背景に上昇しました。12月中旬以降は米連邦公開市場委員会（FOMC）で追加利上げが決定されたことに加え、2017年の利上げ見通しが引き上げられたことから、もみ合う展開となりました。2017年に入り、企業業績の改善期待が高まったことに加え、トランプ米新政権の政策に対する期待が再び高まり、期末にかけて上値を試す展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2016年8月27日～2017年2月27日）

当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行いました。

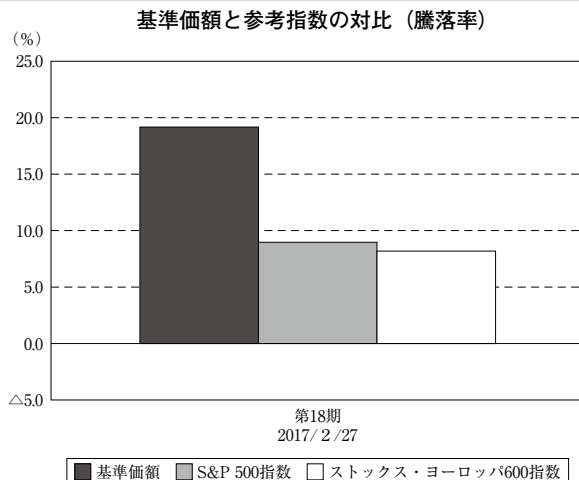
マザーファンドの運用につきましては、10月にかけて、需要好調が継続する米国の半導体関連株などを買付ける一方、新薬試験が低調な結果となった薬品株を売却しました。その後、金利の上昇による利ざやの改善が期待される米国の銀行株のウェイト付けを図る一方、カナダのエネルギー株などを売却し、株式組入比率は90%前後で運用しました。2017年1月中旬以降、企業業績の改善基調が確認されたことから、インフラ投資拡大で恩恵を受ける米国の運輸株に加え、米国や欧州の消費関連株などを買付け、株式組入比率を引き上げました。

国別では米国を高位に維持しフランスのウェイトを引き上げる一方、ベルギー、カナダなどは売却し、業種別では半導体・半導体製造装置、銀行などのウェイトを引き上げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年8月27日～2017年2月27日）

分配金も考慮した当ファンドの基準価額は上昇となりました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているS&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数はいずれも上昇しました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、S&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数です。

分配金

（2016年8月27日～2017年2月27日）

当ファンドは、毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配につきましては、1万口当たり300円（税引前）としました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第18期
	2016年8月27日～ 2017年2月27日
当期分配金	300
（対基準価額比率）	2.610%
当期の収益	53
当期の収益以外	246
翌期繰越分配対象額	2,075

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<投資環境見通し>

世界の株式市場は、米国は企業業績の改善から底堅い一方、欧州は政治的リスクに対する警戒感からもみ合う展開になると予想します。米国は景気先行指数などが堅調に推移し、景気拡大は継続すると見込まれます。欧州はユーロ圏の失業率の改善などから、景気は引き続き底堅く推移すると考えます。しかし、オランダの総選挙やフランスの大統領選を控えており、当面は政治的リスクに対する警戒感が残ることから、株式市場の上値を抑える要因になると考えます。

<グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）>

主要な投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」の組入れを高位に維持して運用する方針です。

○グローバル・エクセレント・マザーファンド

今後の運用方針としては、米国や欧州などの先進国の株式を中心としたポートフォリオで運用を行います。個別銘柄の選別におきましては、高成長が見込まれる米国のIT関連株や米国の利上げ環境下で収益拡大が期待される米国の銀行株に加え、ユーロ安の恩恵が見込まれる欧州の消費関連株や資本財株などを中心にポートフォリオを構築する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年8月27日～2017年2月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	85 (40) (40) (5)	0.810 (0.383) (0.383) (0.044)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	6 (6)	0.058 (0.058)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.008 (0.008)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	12 (11) (1) (0)	0.115 (0.108) (0.007) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	104	0.991	
期中の平均基準価額は、10,490円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年8月27日～2017年2月27日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・エクセレント・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 9,398	千円 12,900

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

○株式売買比率

（2016年8月27日～2017年2月27日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グローバル・エクセレント・マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	68,292千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	113,149千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.60

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2016年8月27日～2017年2月27日）

利害関係人との取引状況

<グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）>
該当事項はございません。

<グローバル・エクセレント・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株 式	28	3	10.7	40	0.697163	1.7

平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合です。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	71千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	2千円
(B)／(A)	3.2%

（注）売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2017年2月27日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)		当期		期末
		口	数	口	数	評価額
グローバル・エクセレント・マザーファンド			千口 95,299		千口 85,900	千円 123,146

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2017年2月27日現在)

項	目	当期		期末
		評価額	比	率
グローバル・エクセレント・マザーファンド		千円 123,146		% 94.6
コーラル・ローン等、その他		7,014		5.4
投資信託財産総額		130,160		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) グローバル・エクセレント・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (118,614千円) の投資信託財産総額 (123,149千円) に対する比率は96.3%です。

(注) グローバル・エクセレント・マザーファンドにおける外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=112.18円、1ユーロ=118.53円、1イギリスポンド=139.26円、1スイスフラン=111.32円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年2月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	130,160,312
コール・ローン等	7,013,357
グローバル・エクセレント・マザーファンド(評価額)	123,146,955
(B) 負債	4,387,317
未払収益分配金	3,370,866
未払信託報酬	1,008,316
未払利息	7
その他未払費用	8,128
(C) 純資産総額(A-B)	125,772,995
元本	112,362,204
次期繰越損益金	13,410,791
(D) 受益権総口数	112,362,204口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,194円

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1.1194円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は122,746,267円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は10,384,063円です。

○損益の状況（2016年8月27日～2017年2月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 753
受取利息	15
支払利息	△ 768
(B) 有価証券売買損益	21,784,741
売買益	22,745,094
売買損	△ 960,353
(C) 信託報酬等	△ 1,016,527
(D) 当期損益金(A+B+C)	20,767,461
(E) 前期繰越損益金	△ 2,096,989
(F) 追加信託差損益金	△ 1,888,815
(配当等相当額)	(4,068,723)
(売買損益相当額)	(△ 5,957,538)
(G) 計(D+E+F)	16,781,657
(H) 収益分配金	△ 3,370,866
次期繰越損益金(G+H)	13,410,791
追加信託差損益金	△ 1,888,815
(配当等相当額)	(4,068,723)
(売買損益相当額)	(△ 5,957,538)
分配準備積立金	19,246,760
繰越損益金	△ 3,947,154

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第18期
(a) 配当等収益(費用控除後)	604,690円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	4,068,723円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	22,012,936円
分配対象収益(a+b+c+d)	26,686,349円
分配対象収益(1万口当たり)	2,375円
分配金額	3,370,866円
分配金額(1万口当たり)	300円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	300円
支払開始日	2017年3月3日(金)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

グローバル・エクセレント・マザーファンド

第9期 運用状況のご報告

決算日：2017年2月27日

「グローバル・エクセレント・マザーファンド」は、2017年2月27日に第9期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		S & P 500 指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
5期(2013年2月26日)	8,596	18.7	1,487.85	8.9	288.40	8.9	96.9	—	196
6期(2014年2月26日)	11,457	33.3	1,845.12	24.0	338.39	17.3	98.0	—	423
7期(2015年2月26日)	14,181	23.8	2,113.86	14.6	386.76	14.3	97.8	—	171
8期(2016年2月26日)	12,232	△13.7	1,951.70	△7.7	326.54	△15.6	89.8	—	115
9期(2017年2月27日)	14,336	17.2	2,367.34	21.3	370.01	13.3	96.2	—	123

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) S & P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。なお、両指数とも当該日前営業日の現地終値を使用しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

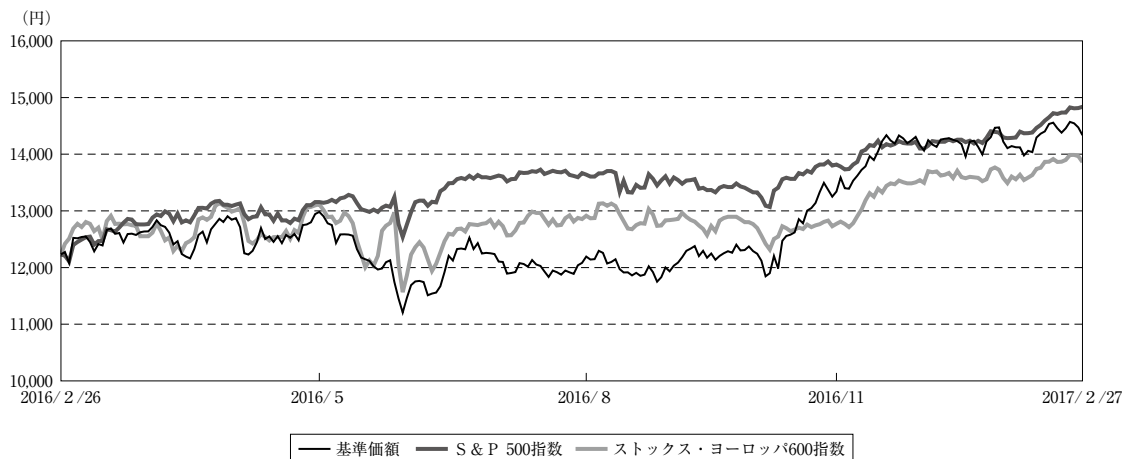
年 月 日	基 準 価 額		S & P 5 0 0 指 数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2016年2月26日	12,232	—	ポイント 1,951.70	% —	ポイント 326.54	% —	% 89.8	% —
2月末	12,274	0.3	1,948.05	△ 0.2	331.54	1.5	89.8	—
3月末	12,832	4.9	2,063.95	5.8	341.18	4.5	97.2	—
4月末	12,714	3.9	2,095.15	7.4	348.32	6.7	96.2	—
5月末	12,982	6.1	2,099.06	7.6	350.14	7.2	94.7	—
6月末	11,690	△ 4.4	2,070.77	6.1	326.49	△ 0.0	84.5	—
7月末	12,238	0.0	2,170.06	11.2	339.47	4.0	87.9	—
8月末	12,194	△ 0.3	2,176.12	11.5	344.75	5.6	95.8	—
9月末	11,933	△ 2.4	2,151.13	10.2	342.72	5.0	94.1	—
10月末	12,290	0.5	2,126.41	9.0	340.80	4.4	92.5	—
11月末	13,341	9.1	2,204.66	13.0	340.95	4.4	90.1	—
12月末	14,063	15.0	2,249.26	15.2	360.26	10.3	93.0	—
2017年1月末	14,221	16.3	2,280.90	16.9	362.55	11.0	96.8	—
(期 末) 2017年2月27日	14,336	17.2	2,367.34	21.3	370.01	13.3	96.2	—

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2016年2月27日～2017年2月27日)



(注) 参考指数は、S & P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数です。

(注) 参考指数は、期首(2016年2月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米国の金融規制の緩和期待から事業環境の改善が期待された銀行株に加え、ユーロ安に伴う業績改善が見込まれる欧州の消費関連株や素材株などの上昇がプラスに寄与しました。
- ・需要が好調で業績の伸長が見込めると判断し新規に組入れた半導体関連株の上昇がプラスに寄与しました。
- ・個別では、高成長が継続する米国のAMAZON.COM INCに加え、欧州の景気回復や通貨安の恩恵が見込まれるドイツのBASF SEやSIEMENS AG-REGなどの上昇がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・新薬試験が低調な結果となった薬品株や業績悪化懸念が台頭した欧州の飲料株などの下落がマイナスに寄与しました。
- ・為替市場において、イギリスポンドやユーロを中心に円高が進んだことが基準価額にマイナスに寄与しました。

投資環境

(2016年2月27日～2017年2月27日)

世界の株式市場は、2016年4月中旬にかけて原油価格が反発基調となったことや、米国の景気持ち直しへの期待が高まったほか、欧州中央銀行（ECB）が追加金融緩和を決定したことが好感され、反発しました。6月中旬にかけては、欧州大手金融機関の業績悪化懸念などが悪材料となり、上値の重い展開となりました。しかし下旬には、英国の欧州連合（EU）の離脱が決定し、先行き不透明感が高まったことから急落しました。7月以降は、米国企業の業績回復への期待が強まったことに加えて、英国の新首相が決まったことからEU離脱決定後の政局に対する不透明感が後退し、9月上旬にかけて戻りを試す展開となりました。11月上旬にかけては、ECBの量的金融緩和策の縮小観測が台頭したことや、米大統領選を巡る不透明感が高まり、軟調に推移しました。しかしその後、米大統領選でトランプ氏が勝利し、同氏が掲げた財政出動や金融規制緩和等への期待を背景に上昇しました。12月中旬以降は米連邦公開市場委員会（FOMC）で追加利上げが決定されたことに加え、2017年の利上げ見通しが引き上げられたことから、もみ合う展開となりました。2017年に入り、企業業績の改善期待が高まったことに加え、トランプ米新政権の政策に対する期待が再び高まり、期末にかけて上値を試す展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2016年2月27日～2017年2月27日)

3月上旬にかけて、成長が見込まれる米国のIT関連株や業績回復が期待されるフランスの資本財株などを買付け、株式組入比率を引き上げました。その後、6月に、英国のEU離脱懸念に伴う世界経済の減速を警戒し、株価バリュエーションが高いと判断したインターネット関連株やグローバルで事業を展開する資本財株などを売却し、株式組入比率を引き下げました。7月中旬以降、投資家のリスク回避姿勢が後退したと判断し、欧州の化学株や機械株などを中心に買付け、株式組入比率を再び引き上げました。10月にかけては、需要好調が継続する米国の半導体関連株などを買付ける一方、新薬試験が低調な結果となった薬品株を売却しました。その後、金利の上昇による利ざやの改善が期待される米国の銀行株のウェイト付けを図る一方、カナダのエネルギー株などを売却し、株式組入比率は90%前後で運用しました。2017年1月中旬以降、企業業績の改善基調が確認されたことから、インフラ投資拡大で恩恵を受ける米国の運輸株に加え、米国や欧州の消費関連株などを買付け、株式組入比率を引き上げました。

国別では米国やフランスのウェイトを引き上げる一方、スウェーデン、ベルギー、カナダなどは売却し、業種別では半導体・半導体製造装置、素材などのウェイトを引き上げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年2月27日～2017年2月27日)

当ファンドの基準価額は上昇となりました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているS&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数はいずれも上昇しました。

今後の運用方針

世界の株式市場は、米国は企業業績の改善から底堅い一方、欧州は政治的リスクに対する警戒感からもみ合う展開になると予想します。米国は景気先行指数などが堅調に推移し、景気拡大は継続すると見込まれます。欧州はユーロ圏の失業率の改善などから、景気は引き続き底堅く推移すると考えます。しかし、オランダの総選挙やフランスの大統領選を控えており、当面は政治的リスクに対する警戒感が残ることから、株式市場の上値を抑える要因になると考えます。

今後の運用方針としては、米国や欧州などの先進国の株式を中心としたポートフォリオで運用を行います。個別銘柄の選別におきましては、高成長が見込まれる米国のIT関連株や米国の利上げ環境下で収益拡大が期待される米国の銀行株に加え、ユーロ安の恩恵が見込まれる欧州の消費関連株や資本財株などを中心にポートフォリオを構築する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年2月27日～2017年2月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 13 (13)	% 0.102 (0.102)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.008 (0.008)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	23 (22) (1)	0.184 (0.174) (0.009)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	37	0.294	
期中の平均基準価額は、12,731円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年2月27日～2017年2月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 52 (3)	千米ドル 373 (4)	百株 55 (一)	千米ドル 408 (4)
	カナダ	—	千カナダドル —	4	千カナダドル 15
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	6	41	3	24
	フランス	9	34	11	26
	オランダ	3	20	—	—
	スペイン	—	—	4	12
	ベルギー	— (2)	— (23)	2 (2)	22 (23)
	スイス	18	千スイスフラン 47	10	千スイスフラン 42
	スウェーデン	—	千スウェーデンクローナ —	3	千スウェーデンクローナ 84

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2016年2月27日～2017年2月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	118,160千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	112,012千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.05

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2016年2月27日～2017年2月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株 式	百万円 3	% 5.3	百万円 60	百万円 0.697163	% 1.2	

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	122千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	2千円
(B)／(A)	1.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2017年2月27日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ANADARKO PETROLEUM CORP	—	7	45	5,086	エネルギー
CARNIVAL CORP	5	4	22	2,514	消費者サービス
CITIGROUP INC	2	4	23	2,672	銀行
CVS HEALTH CORP	2	2	16	1,828	食品・生活必需品小売り
DU PONT (E. I.) DE NEMOURS	—	6	47	5,371	素材
GENERAL DYNAMICS CORP	2	1	18	2,127	資本財
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	3	2	25	2,805	資本財
JPMORGAN CHASE & CO	5	6	54	6,079	銀行
KIMBERLY-CLARK CORP	—	1	13	1,499	家庭用品・パーソナル用品
MASTERCARD INC - A	2	1	11	1,245	ソフトウェア・サービス
MERCK & CO. INC.	4	2	13	1,484	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
METLIFE INC	2	—	—	—	保険
SALESFORCE.COM INC	4	3	24	2,752	ソフトウェア・サービス
SCHLUMBERGER LTD	3	3	24	2,697	エネルギー
WALT DISNEY CO/THE	3	—	—	—	メディア
UNION PACIFIC CORP	—	2	21	2,417	運輸
NEXTERA ENERGY INC	1	1	13	1,469	公益事業
VISA INC-CLASS A SHARES	5	3	26	2,976	ソフトウェア・サービス
WELLS FARGO & CO	5	3	17	1,945	銀行
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	5	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HOME DEPOT INC	3	1	14	1,637	小売
OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	2	2	12	1,455	エネルギー
UNITEDHEALTH GROUP INC	2	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
DANAHER CORP	4	2	17	1,931	ヘルスケア機器・サービス
CALIFORNIA RESOURCES CORP	0.18	—	—	—	エネルギー
AMAZON.COM INC	1	1	84	9,481	小売
APPLIED MATERIALS INC	—	10	36	4,072	半導体・半導体製造装置
COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	4	—	—	—	ソフトウェア・サービス
COMCAST CORP-CLASS A	5	4	15	1,700	メディア
COSTCO WHOLESALE CORP	2	1	17	1,991	食品・生活必需品小売り
FACEBOOK INC-A	4	3	40	4,558	ソフトウェア・サービス
GILEAD SCIENCES INC	2	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALPHABET INC-CL A	—	1	84	9,510	ソフトウェア・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	—	5	36	4,085	半導体・半導体製造装置
ROSS STORES INC	—	3	20	2,322	小売
STARBUCKS CORP	6	3	17	1,934	消費者サービス
CELGENE CORP	2	3	35	3,978	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	90 29	90 30	852 —	95,631 <77.7%>
(カナダ)			千カナダドル		
SUNCOR ENERGY INC	4	—	—	—	エネルギー
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	4 1	— —	— —	— <-%>

グローバル・エクセレント・マザーファンド

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(ユーロ・・・ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円		
BASF SE	—	2	17	2,070	素材	
SIEMENS AG-REG	—	1	17	2,020	資本財	
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES	—	2	17	2,037	自動車・自動車部品	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2 2	5 3	51 —	6,128 <5.0%>	
(ユーロ・・・フランス)						
AXA SA	—	9	—	—	保険	
PERNOD RICARD SA	—	—	1	16	1,919	食品・飲料・タバコ
ALSTOM	—	—	6	15	1,802	資本財
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	—	1	1	19	2,260	耐久消費財・アパレル
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	10 2	8 3	50 —	5,982 <4.9%>	
(ユーロ・・・オランダ)						
AIRBUS SE	—	—	3	22	2,673	資本財
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	3 1	22 —	2,673 <2.2%>	
(ユーロ・・・スペイン)						
INDUSTRIA DE DISEÑO TEXTIL	—	8	4	12	1,432	小売
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	8 1	4 1	12 —	1,432 <1.2%>	
(ユーロ・・・ベルギー)						
ANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV	—	2	—	—	—	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2 1	— —	— —	— <—%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	23 6	21 8	136 —	16,216 <13.2%>	
(イギリス)				千イギリスポンド		
GKN PLC	—	27	27	9	1,297	自動車・自動車部品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	27 1	27 1	9 —	1,297 <1.1%>	
(スイス)				千スイスフラン		
CIE FINANCIERE RICHEMONT-REG	—	3	2	15	1,669	耐久消費財・アパレル
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	—	0.8	0.5	12	1,364	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ABB LTD-REG	—	—	9	20	2,266	資本財
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3 2	11 3	47 —	5,300 <4.3%>	
(スウェーデン)				千スウェーデンクローナ		
HENNES & MAURITZ AB-B SHS	—	3	—	—	—	小売
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3 1	— —	— —	— <—%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	151 40	150 42	— —	118,447 <96.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、当期末の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨てです。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載しています。

(注) ー印は組み入れがありません。

(注) 銘柄及び銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

○投資信託財産の構成

(2017年2月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 118,447	% 96.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,702	3.8
投 資 信 託 財 産 総 額	123,149	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産 (118,614千円) の投資信託財産総額 (123,149千円) に対する比率は96.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=112.18円、1ユーロ=118.53円、1イギリスポンド=139.26円、1スイスフラン=111.32円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年2月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	123,149,304
コール・ローン等	4,566,147
株式(評価額)	118,447,215
未収配当金	135,942
(B) 負債	10
未払利息	4
その他未払費用	6
(C) 純資産総額(A-B)	123,149,294
元本	85,900,499
次期繰越損益金	37,248,795
(D) 受益権総口数	85,900,499口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,336円

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1.4336円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は94,628,159円、期中追加設定元本額は3,187,760円、期中一部解約元本額は11,915,420円です。

(注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

グローバル・エクセレント・オープン (愛称 世界連峰)
85,900,499円

○損益の状況 (2016年2月27日~2017年2月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,640,465
受取配当金	1,642,780
受取利息	30
支払利息	△ 2,345
(B) 有価証券売買損益	17,880,905
売買益	23,234,150
売買損	△ 5,353,245
(C) その他費用等	△ 222,428
(D) 当期損益金(A+B+C)	19,298,942
(E) 前期繰越損益金	21,122,193
(F) 追加信託差損益金	812,240
(G) 解約差損益金	△ 3,984,580
(H) 計(D+E+F+G)	37,248,795
次期繰越損益金(H)	37,248,795

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。